産業構造変化に対応した学び直し・生涯学習機会の提供

産業構造の変化に対応した社会人のキャリアアップ・職種転換、若者・女性の再チャレンジを容易に する「学び直し社会(生涯学習社会)」の実現。生涯にわたる学びの基盤づくり。

学び直しの課題

- ○大学・専門学校等での社会人受講者数の増大(12万人→20万人)
- •履修証明プログラムがある大学の増加 (H21:72大学)
- ・社会人等を対象とした短期教育プログラム等を設けている専修学校数の増加 (H24:232校) 具体的方向性
- ・仕事が忙しい(主に企業側の課題)
- ・費用負担が大きい (主に社会人側の課題)
- ・社会人のニーズに対応した教育プログラムの 不足 (大学・専門学校等教育機関の課題)
- 教育界と産業界との対話・協働の確立・促進により、キャリアアップや就労に必要な能力を身に付けるため の実践的教育プログラム構築などを促進。

社会人の学び直し

教育界

- ○履修証明制度の積極的 活用など柔軟な履修方法 等の提供を推進
- ○社会に貢献する大学・専 門学校等への重点支援

~ 対話 ~

- ①成長分野における産業振興、②地域活性化 をテーマに、産業界と教育界が人材育成の目標を 共有し改革方策を議論
- ■リーダー層の育成
- ■中堅技術者の育成

産学協働人財育成円卓会議

中核専門人材養成のための 産学官コンソーシアム

議論の段階から更に進み、産業界・教育界がそれぞれの持 つリソースを提供し合いながら、<u>実践的教育プログラムを構</u>築

事例: 専修大学「KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミー」 →p20

産業界

○企業等における社会人の 学びを支える環境づくりを 推進(ワークライフバランス への配慮等学び直しを応 援する企業の取組を推進

受講

社会人

○学習時間確保や授業料負担等への配慮

キャリアアップ 職種転換

生涯にわたる学びの基盤づくり

学校教育における児童生徒等の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育や職業教育の充実

- ・体系的・系統的なキャリア教育実践の促進、学校と地域・社会や産業界等が連携・協働した取組の促進
- ・専門高校と大学・研究機関・企業等との連携による、高度な技術・技能の習得などの職業教育を通じた高度職業人の育成の推進

補足説明資料